

第 6 回 中央区自治協議会 会議概要

開催日時	令和 7 年 2 月 21 日（金） 午 2 時 00 分から午後 5 時 30 分まで
会 場	中央区役所 5 階 対策室
出 席 者	委 員 渡辺（雅）委員、玉木委員、豊島委員、米倉委員、上之山委員、唐沢委員、伊藤委員、野澤委員、樋口委員、山岸委員、鈴木委員、長谷川委員、井上委員、吉岡委員、小林(栄)委員、渡邊（俊）委員、小林(寿)委員、田中委員、渡部委員、佐藤委員、八木委員、高橋委員、土田委員、森本委員、松川委員、桐生委員、若木委員、北川委員 出席 28 名 欠席 4 名 （高田委員、寺井委員、高見委員、小奈委員） 事務局・説明者 〔新潟市〕 商業振興課長 〔新潟市教育委員会〕 教育支援センター所長、中央図書館長 〔中央区役所〕 区長、副区長、窓口サービス課長、健康福祉課長、保護課長、建設課長、東出張所長、南出張所長、地域課長、地域課長補佐
議 事	1 開会 ○ 会議の成立について 委員 32 名中 28 名出席のため、規定により会議は成立 2 部会活動報告（議長＝佐藤会長） ①第 1 部会（資料 報 1-1） ○ 松川部会長、土田委員より、第 9 期第 1 部会の活動報告がありました。 ● 佐藤会長より、プロジェクトの効果として、参加店舗の売上向上など具体的な数値はあるかと質問がありました。松川部会長より、現

時点で数値データはないが、新たな投稿をしてフォロワー数を増やす努力をしていると回答がありました。

- 田中委員より、本町・古町にチェーン店が少ないのは家賃が高く集客が難しいためだが、その分個人店にとっては穴場となり、今回の取組みを通じて新たな店舗の発見につながることを期待すると意見がありました。
- 森本委員より、店舗名が一部投稿に記載されていないため、改善を望む意見がありました。土田委員より、マップ上の登録の有無により表示できない場合があると説明がありました。
- 樋口委員より、Instagramの活用は土田委員の発案であり、若い世代の意見を取り入れることで自治協議会が活性化した良い例となった。また、市のLINEで広報した結果、フォロワーが約100件から約400件に増加し、発信力の重要性が再認識されたと説明がありました。

②第2部会（資料 報1-2）

○ 米倉部会長より、第9期第2部会の活動報告がありました。

- 山岸委員より、防災意識をアップデートするための講演会を自治協議会で実施できるとよいと意見がありました。

③第3部会（資料 報1-3）

○ 田中部会長より、第9期第3部会の活動報告がありました。

- 松川委員より、「とやのテラス」構想を県に提案してほしいと要望がありました。佐藤会長より、県の担当者に資料を渡しておくとの回答がありました。
- 鈴木委員より、新潟の気候を考慮し、「とやのテラス」をオールシーズン利用できる全天候型施設として検討してはどうかと提案がありました。田中委員より、単独の施設で全てを補うのは難しく、周辺には自然科学館や図書館、ショッピングモールもあるため、地域全体を楽しめるゾーンとして活用できたらよいと考えていると回答がありました。
- 吉岡委員より、鳥屋野潟の水質は現在どうなっているかと質問がありました。佐藤会長より、下水道整備が進み、過去に比べて大幅に改善されていると回答がありました。

- 樋口委員より、西海岸公園の整備事業が区長提案事業として進められた経緯を踏まえ、「とやのテラス」構想も同様に中央区の区長提案事業として、中央区の支援を得ながら実現を目指してはどうかと提案がありました。田中委員より、公園計画地は県の管理下にあるため区として直接の対応は難しいが、市民の盛り上がりが重要であると回答がありました。
- 若木委員より、「とやのテラス」構想に関連し、ラムサール条約の湿地自治体認証を受けたことを活かして、鳥の博物館を設立してはどうかと提案がありました。田中委員より、ビジターセンター内に見所を設ける方向で議論が行われたと説明がありました。

④第4部会（資料 報1-4）

- 唐沢部会長、北川副部会長より、第9期第4部会の活動報告がありました。

- 松川委員より、老舗紹介リーフレットを新潟駅の観光案内所に設置してほしいと要望がありました。北川委員より、観光政策課を通して配布を依頼したと回答がありました。
- 小林（寿）委員より、老舗紹介リーフレットの地図が、中央区全体を網羅しており、地域ごとの魅力を発見しやすい点が特に優れている。また、ヤング向けとしながらも、自宅近くの老舗を訪れるきっかけとなると意見がありました。
- 上之山委員より、第1部会と第4部会の連携を強化する提案があり、老舗紹介リーフレットに第1部会のインスタグラムの二次元コードを掲載したり、インスタグラムでリーフレットを紹介することで、相乗効果が期待できると意見がありました。

⑤中央区自治協議会だより編集部会（資料 報1-5）

- 小林（栄）部会長より、第9期中央区自治協議会だより編集部会の活動報告がありました。

3 議事

(1) 中央区自治協議会 第10期委員改選について(資料 議1)

- 若木座長より、各団体の推薦者について説明がありました。また、公募委員については、応募者5名のうち、40歳以下枠1名を含めた、計3名を選考した旨報告があり、委員推薦名簿(案)のとおり承認されました。
- 小林(寿)委員より、学生同士で意見交換がしやすくなるため、各学校からの参加人数を増やすことは可能かと質問がありました。事務局より、より良い活動につながる可能性があるため、今後の課題として検討すると回答がありました。

4 報告

――委員活動報告――

(1) 委員からの報告について

①信濃川やすらぎ堤利用調整協議会(資料 報2)

○田中委員より、信濃川やすらぎ堤利用調整協議会の会議概要について報告がありました。

- 鈴木委員より、以前は年配の夫婦なども利用していたが、現在は価格が高くなり、一人あたりの負担が大きく感じられる。集客を増やすためには、気軽に利用できる価格設定も考慮する必要があると意見がありました。
- 森本委員より、ミズベリングの認知度向上と集客促進のため、NST 夏祭りや地域のイベントと連携し、訪れた人が自然に参加できる仕組みを作るべきと提案がありました。田中委員より、右岸での開催時に左岸から騒音の苦情が寄せられた経緯があり、盛り上げたい一方で騒音対策とのバランスが課題となっていると説明がありました。また、スノーピーク主体で運営されている現状を踏まえ、行政や市民がどのように関与していくかを検討する必要があると意見がありました。

②中央区地域公共交通検討会議(資料 報3)

○松川委員より、中央区地域公共交通検討会議の会議概要について報告がありました。

- 森本委員より、新潟市が3月20日に実施する「バス無料デー」の目的や意図について質問がありました。また、新潟駅南部の開発に関しては、開発時に交通計画の策定が必要であり、その計画に基づいて進められるはずであると説明がありました。地域課長より、「バス無料デー」は、マイカー依存が高い現状の中で公共交通の利便性を知ってもらうことを目的に実施されているもので、詳細は市のホームページで確認できると説明がありました。
- 若木委員より、亀田にあるイオンには週末になると多くの人が訪れ、その半数以上が市外からの来訪者であり、移動時間の予測が容易な公共交通があれば新潟市中心部への誘導が可能と意見がありました。
- 森本委員より、鳥屋野潟周辺の広い道路を活用し、モノレールやBRT、LRTの導入計画がかつて検討されていたことを踏まえ、LRTが難しくてもバス運行の可能性はあると意見がありました。

――各所管課からの説明（報告）――

（2）令和7年度中央区特色ある区づくり予算（区役所企画事業）について
（資料 報4）

- 総務課長より、令和7年度中央区特色ある区づくり予算について、自治協議会からの意見に対する各担当課の対応について説明がありました。

（3）西堀ローサ及び西堀地下駐車場について（資料 報5）

○商業振興課長より、西堀ローサ及び西堀地下駐車場について、報告がありました。

- 桐生委員より、次の方針が決まるまでの間の活性化策として、有名なアーティストを招きシャッターに絵を描いてもらう取組みの提案がありました。商業振興課長より、全国の商店街でも同様の取組みが行われているため、参考にしながら検討したいと回答がありました。

- 北川委員より、次の方針が決まるまでのスケジュール感はどうなっているかと質問がありました。商業振興課長より、昨年 8 月からサウンディング型市場調査を実施し、民間企業と対話を進めているが、短期間で決定するかは不透明であり、なるべく早く方向性を示せるよう取り組んでいくと回答がありました。

5 委員からの提案事項に基づく討議

(1) 北川委員提案討議（資料 討1）

- 北川委員より、古町・本町エリアのまちづくりについて意見交換したいという提案がありました。
- 土田委員より、古町・本町について、大学生や専門学生に取ったアンケート結果の説明があり、古町は落ち着いた雰囲気という魅力があるものの、アクセス面での不便さが若者の来訪を妨げている。ショッピングモールなどの施設と組み合わせることで、より訪れやすくなる可能性があるという意見がありました。
- 豊島委員より、かつては徒歩で訪れていたものの、商業施設が減少したことで足が遠のき、代わりに万代や駅前へ行くことが増えたが一方で、最近では若者向けの店舗も増えており、散策を楽しんでいるが、商業施設の早期整備が望まれるという意見がありました。
- 小林（栄）委員より、古町・本町の活性化には、住みやすさの向上と既存資源の有効活用が不可欠であり、若い世代と協力しながら新たな発展を目指すべきという意見がありました。
- 井上委員より、古町・本町の活性化には、子育て世代が気軽に訪れやすい環境づくりや、歴史を活かしたまちなみや、買い物の利便性向上が求められるという意見がありました。
- 野澤委員より、若者の誘致と同時に、居心地の良さを求める世代が離れないまちづくりも重要で、さらに、公共交通によるアクセス改善によってより多くの人が訪れやすくなることが望まれるという意見がありました。
- 若木委員より、新潟島に行きたいと思える核を作るとともに、行政と民間が役割を分担し、公共交通と連携したまちづくりが必要という意見がありました。

	● 鈴木委員より、一時的な集客ではなく、「行きたくなるまち」を目指し、老若男女が楽しめるまちづくりを考えてほしいと意見がありました。 ● 森本委員より、古町はエリアごとの特性を活かし、「ストーリー性のあるまちづくり」を目指すべき。また、観光振興においても、まずは地域住民の生活が充実することが不可欠と意見がありました。 6 その他 (1) 委員からのお知らせ ○ 高橋委員より、中央区社会福祉協議会が開催する「令和 6 年度中央区地域福祉推進フォーラム」についてお知らせがありました。 7 閉会
県議・市議	3 名
傍 聴 者	2 名
報 道 機 関	0 社